

金融機能強化法に基づく  
新たな「経営強化計画」の概要

# 金融機能強化法に基づく新たな「経営強化計画」の概要①【福邦銀行・南日本銀行】

(令和2年9月30日(水)公表)

(単位：億円、%)

銀行名 (時期) [資本参加額]	経営改善の目標 信用供与の円滑化の目標	計画始期 (R2/3期)	計画終期 (R5/3期)	始期比	新計画における主な取組み
福邦銀行 (平成21年3月) [60億円]	コア業務純益(百万円)	217	540	323	①お客さまの成長・再生支援 (1)「トップライオンサポート」「バックオフィスサポート」など、顧客の本業支援を実施。 (2)顧客の本業支援を可能とする人材の配置とするため、外部機関への出向者などを専任部署に配置し、顧客サービスの充実をサポート。 ②業務効率化とお客様サービス向上 (1)福井銀行との共同店舗化や店舗内店舗などによる店舗再編により、広域化と行員の集中を図り、行員育成に時間と機会の創出。 (2)福井銀行が活用するサブシステムの共同利用。 ③活カある職場 (1)コンサル能力向上等の人材育成 (2)特別表彰による行員への多様な評価 (3)役職員間のコミュニケーション強化 など
	業務粗利益経費率	71.42	66.30	▲ 5.12	
	中小規模事業者等向け貸出残高	1,632	1,660	28	
	同 貸出比率	36.76	37.60	0.84	
	経営改善支援先割合	13.39	13.90	0.51	
	同 貸出比率	36.76	37.60	0.84	
南日本銀行 (平成21年3月) [150億円]	コア業務純益(百万円)	2,057	2,445	388	①事業者向け資金繰り支援 (1)約定弁済している運転資金について、顧客が資金繰りの不安から解放され、ポストコロナに向けた事業運営に注力できる機会を創出するため、当座貸越や短期継続融資を活用した資金への組み換え提案の実施 (2)WIN-WINネット業務「事業再生型」及びQTシートを活用した質の高い融資の推進 ②消費者向け資金繰り支援 (1)住宅ローンについては、顧客の事情に応じて柔軟に条件変更対応を実施 (2)消費者ローンについては、保証会社の承認が得られないものは、創設した当行プロパー商品を活用し、返済額の見直しを実施
	業務粗利益経費率	64.17	64.02	▲ 0.15	
	中小規模事業者等向け貸出残高	3,491	3,621	130	
	同 貸出比率	44.39	44.53	0.14	
	経営改善支援先割合	2.59 (※1)	2.68	0.09	
	同 貸出比率	44.39	44.53	0.14	

(※1) 令和2年3月期の履行状況報告書は、1年間貸出スプレッドが下がらなかった経営改善支援先数の割合を求めているが、新たな経営強化計画は、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、経営改善支援先数の割合を計上している。

# 金融機能強化法に基づく新たな「経営強化計画」の概要②【釧路信用組合・滋賀県信用組合】

(令和2年9月30日(水)公表)

(単位:億円、%)

信用組合名 (時期) [資本参加額]	経営改善の目標 信用供与の円滑化の目標	計画始期 (R2/3期)	計画終期 (R5/3期)	始期比	新計画の取組み
釧路 信用組合 (平成26年12月) [80億円]	コア業務純益(百万円)	54	140	86	<p>○ソリューション営業の実践による収益力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客情報の管理ツールを一元化し、営業店職員の訪問状況等を迅速に共有するとともに、資金需要が見込まれる先を絞り込み、重点的に営業活動を行うことで効率化を実践</li> <li>○JIT計画及びジョブローテーション計画を策定することで新入職員育成を行い、外部講師の招聘や部門別・階層別での勉強会を開催することでスキルアップを図る</li> </ul> <p>○業務の効率化・生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業性融資が多く収益力の高い店舗へ人員を集中させる一方、不採算店舗は将来性を見据えた再編に着手</li> <li>各営業地区の特性に鑑み、各営業店を事業性融資強化店、併進店、消費性融資中心店の3区分に分けることで生産性の向上を図る</li> </ul> <p>○信用リスク管理の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不良債権の圧縮に引き続き取り組むとともに、事業再生に特化した特別チームの下、取引先の経営改善支援を行うことで不良債権の発生を防止</li> </ul>
	業務粗利益経費率	80.62	72.61	▲ 8.01	
	中小規模事業者等向け貸出残高	297	305	7	
	同 貸出比率	32.37	33.15	0.78	
	経営改善支援先割合	4.26	4.38	0.12	
滋賀県 信用組合 (平成26年12月) [190億円]	コア業務純益(百万円)	195	196	1	<p>○貸出金増強等による収益力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他金融機関からの人材派遣支援による専門人材を活用し、事業性融資先の開拓を行うとともに、渉外職員への指導を通してノウハウを蓄積</li> <li>営業店長の活動状況を本部へ毎日報告することで役員を含めた当組合全体の営業活動の迅速化</li> <li>創業・新規事業開拓を含めた小口新規先への支援を推進し、中小規模事業者向け貸出残高を伸長</li> </ul> <p>○人材育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○JIT指導計画や通信教育を充実させ、各部門担当者による研修会、融資実務トレニー研修等を実施し、人材育成を強化</li> </ul> <p>○信用リスク管理の一層の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クレジットポリシーを制定し、経営陣が率先してリスク管理能力の向上に取り組むことで新たな不良債権の発生を防止</li> </ul> <p>○経営の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手順書等を見直しを行い、事務の効率化や人員の適正化を推進</li> </ul>
	業務粗利益経費率	75.85	75.52	▲ 0.33	
	中小規模事業者等向け貸出残高	532	575	42	
	同 貸出比率	34.38	36.41	2.03	
	経営改善支援先割合	41.74	42.17	0.43	